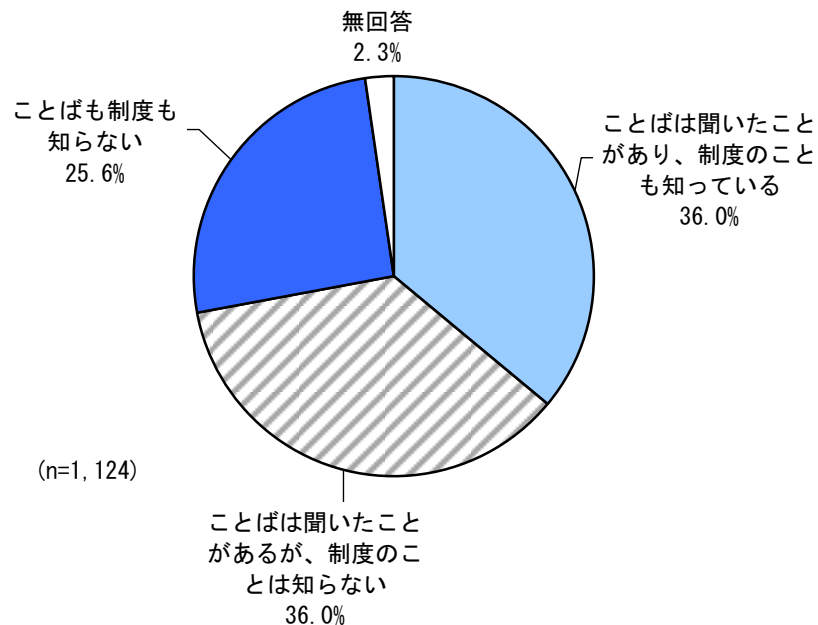


7. 成年後見制度について

(1) 成年後見制度の認知状況

問26 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つ)

【図7-1 成年後見制度の認知状況】

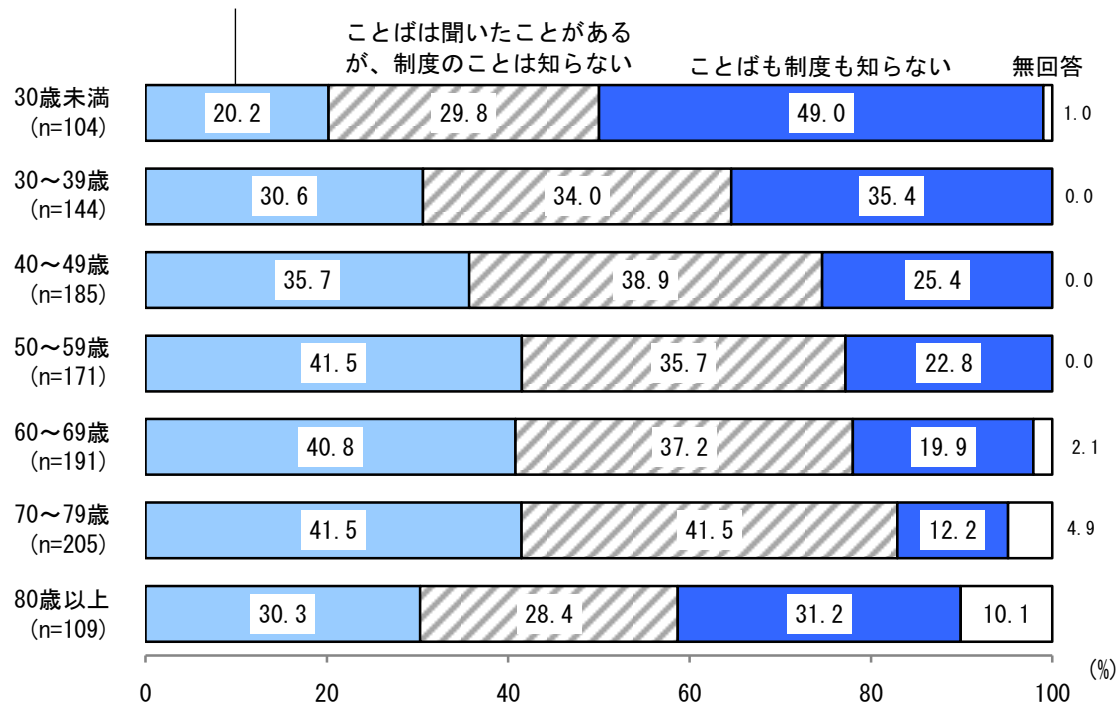


成年後見制度の認知状況については、「ことばは聞いたことがあり、制度のことも知っている」と「ことばは聞いたことがあるが、制度のことは知らない」がそれぞれ36.0%で最も多く、両者をあわせた認知度は72.0%となっています。一方、「ことばも制度も知らない」が25.6%となっています。(図7-1)

年齢別でみると、「ことばも制度も知らない」は30歳未満が49.0%で最も高く、認知度も30歳未満が最も低くなっています。一方、「ことばは聞いたことがあり、制度のことも知っている」は50～79歳で40%台と高くなっています。(図7-1-1)

【図7-1-1 年齢別 成年後見制度の認知状況】

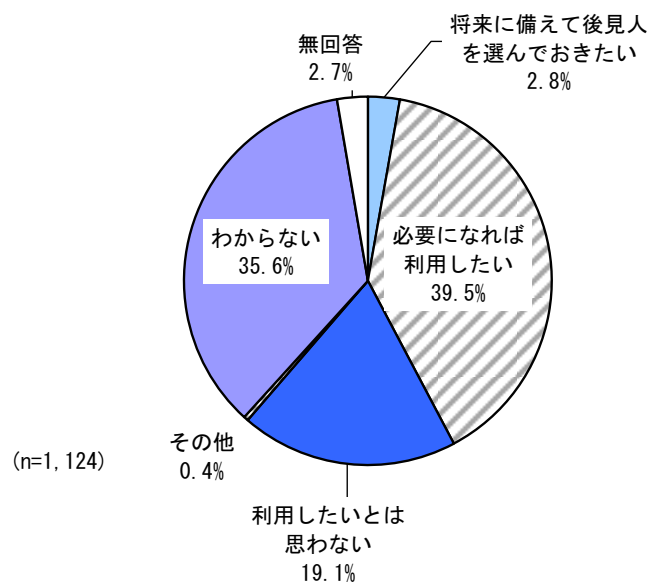
ことばは聞いたことがあり、制度のことも知っている



(2) 成年後見制度の利用意向

問27 あなたは支援が必要になったときには、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

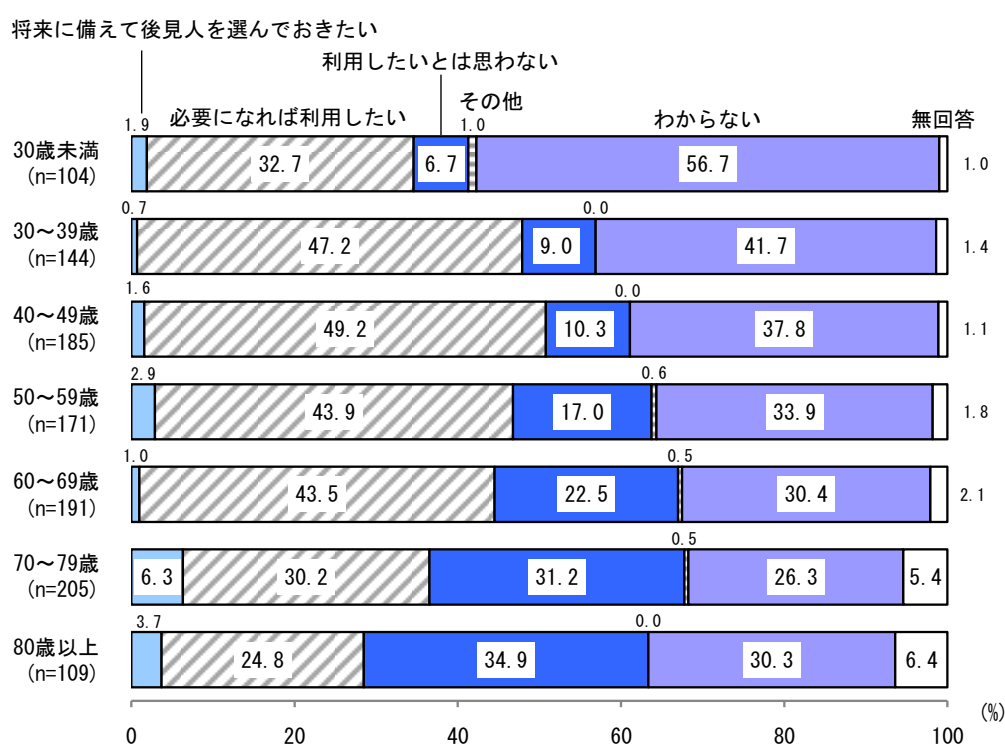
【図7-2 成年後見制度の利用意向】



成年後見制度の利用意向については、「必要になれば利用したい」が39.5%で最も多く、次いで「わからない」が35.6%、「利用したいとは思わない」が19.1%となっています。「将来に備えて後見人を選んでおきたい」(2.8%)と「必要になれば利用したい」をあわせた利用意向がある人は42.3%となっています。(図7-2)

年齢別でみると、「利用したいとは思わない」は年齢が上がるほど割合が高く、80歳以上(34.9%)で最も高くなっています。(図7-2-1)

【図7-2-1 年齢別 成年後見制度の利用意向】

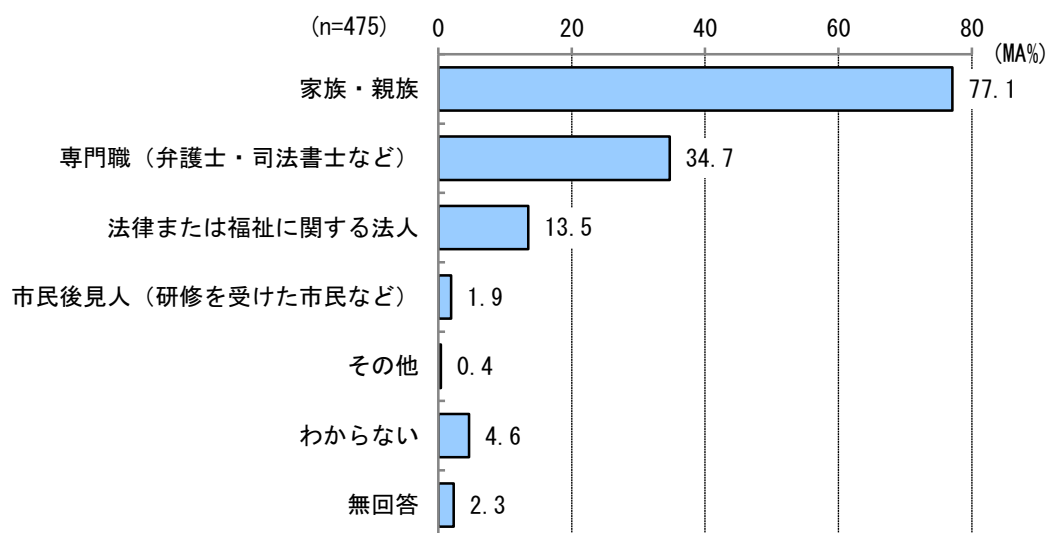


(3) 援助者になってほしい人

問27-1 問27で「1. 将来に備えて後見人を選んでおきたい」「2. 必要になれば利用したい」と回答した方にお聞きします。

援助者にはだれになってもらいたいですか。(〇はいくつでも)

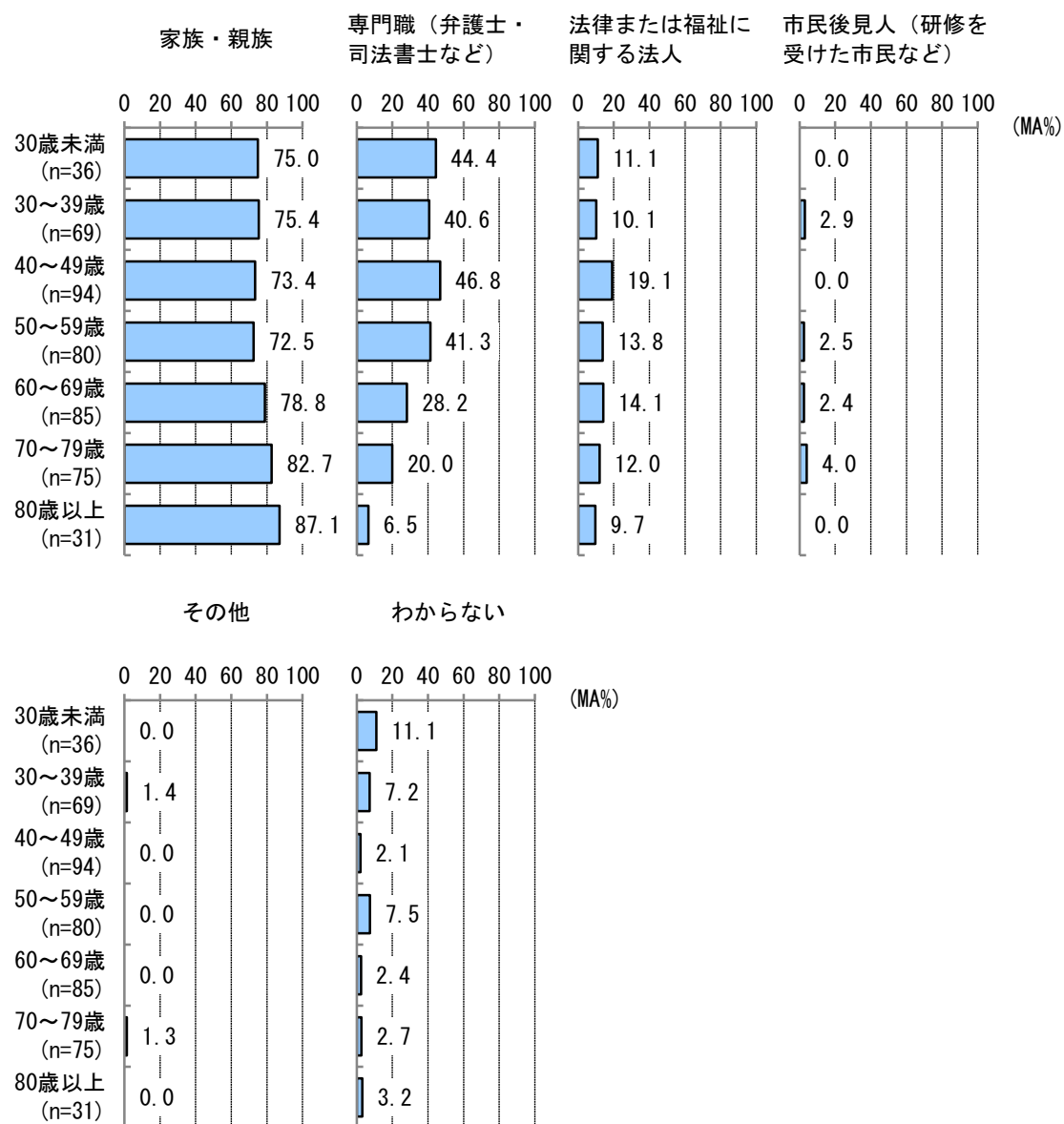
【図7-3 援助者になってほしい人】



成年後見制度の利用意向がある人に、援助者になってほしい人についてたずねると、「家族・親族」が77.1%で最も多く、次いで「専門職（弁護士・司法書士など）」が34.7%、「法律または福祉に関する法人」が13.5%となっています。（図7-3）

年齢別でみると、「家族・親族」はいずれも70%以上と高いですが、70歳以上の年代で80%を超えています。「専門職（弁護士・司法書士など）」は59歳までの年代で40%台と高くなっています。（図7-3-1）

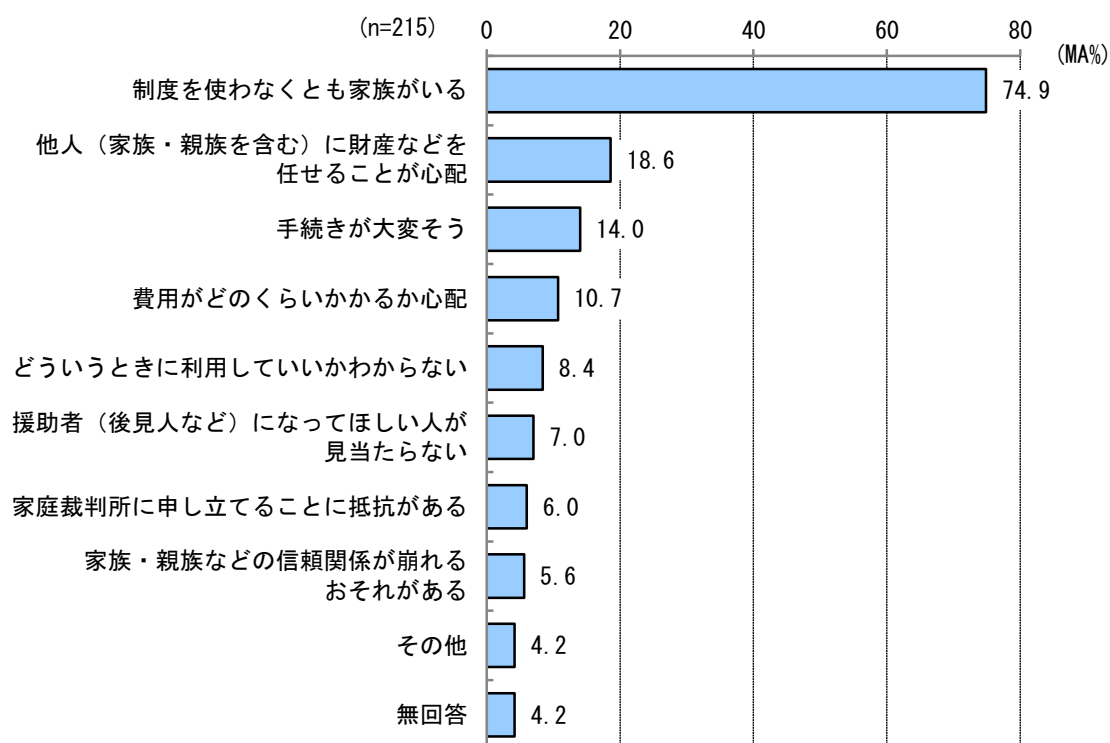
【図7-3-1 年齢別 援助者になってほしい人】



（４）利用したいと思わない理由

問27-2 問27で「３．利用したいとは思わない」と回答した方にお聞きします。
その理由として、あなたの考えに近いものは何ですか。（〇はいくつでも）

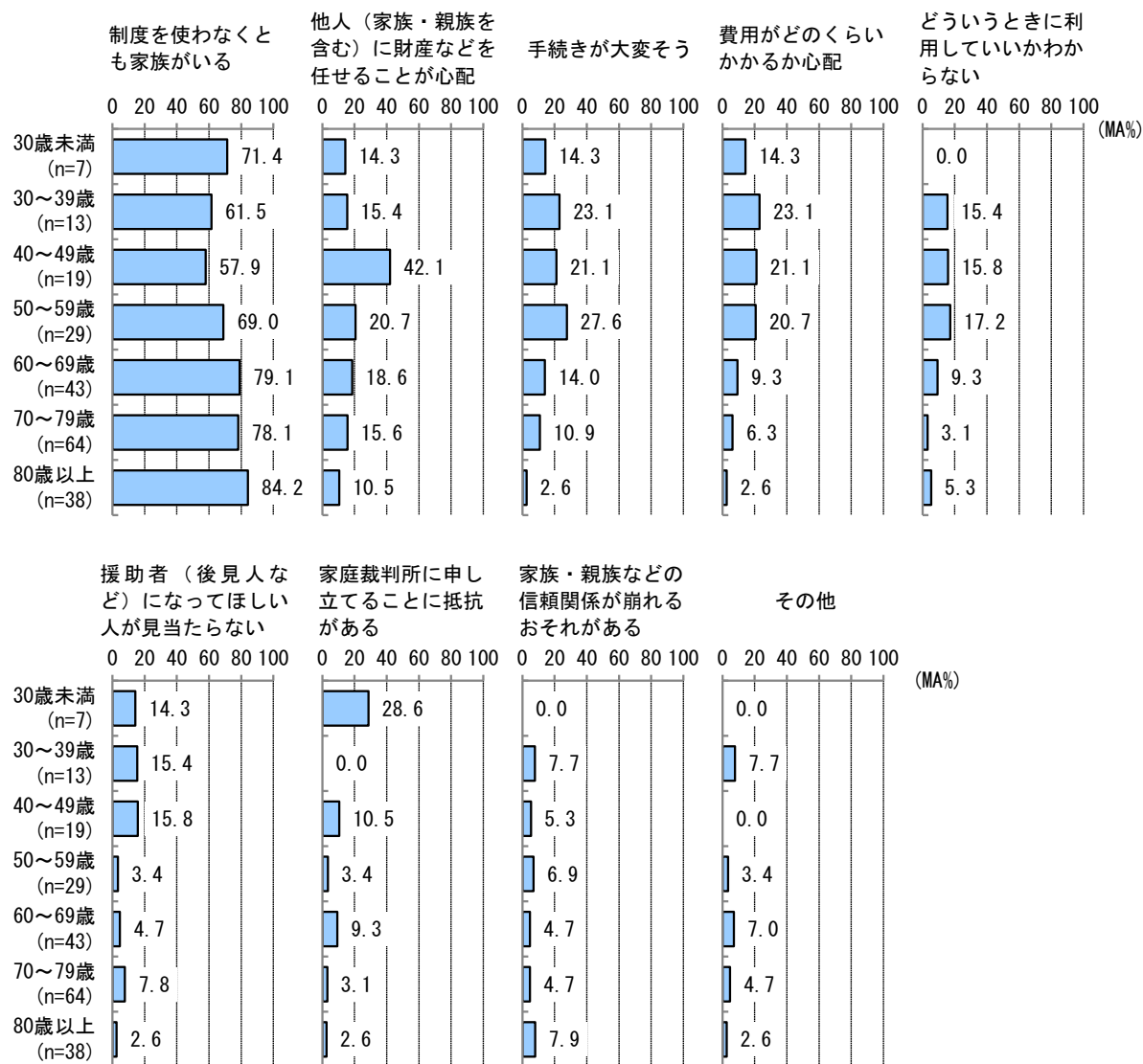
【図7-4 利用したいと思わない理由】



成年後見制度を利用したいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「制度を使わなくとも家族がいる」が74.9%で最も多く、次いで「他人（家族・親族を含む）に財産などを任せることが心配」が18.6%、「手続きが大変そう」が14.0%となっています。（図7-4）

年齢別でみると、いずれの年代も「制度を使わなくとも家族がいる」が最も多く、80歳以上で84.2%と最も高くなっています。(図7-4-1)

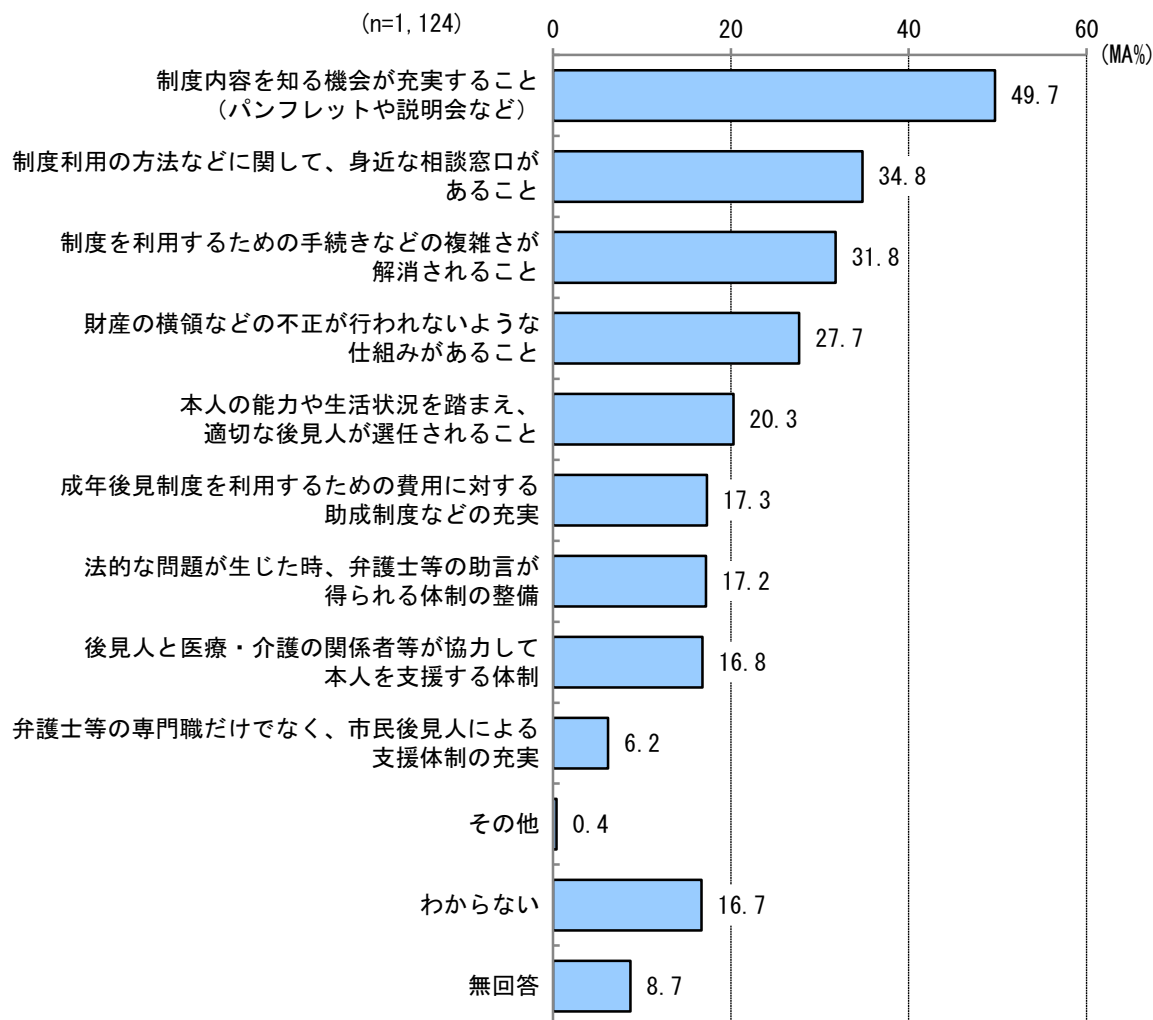
【図7-4-1 年齢別 利用したいと思わない理由】



（５）成年後見制度が利用しやすいものとなるために重要なこと

問28 成年後見制度が利用しやすいものとなるためには、どのようなことが重要であると思いますか。（〇はいくつでも）

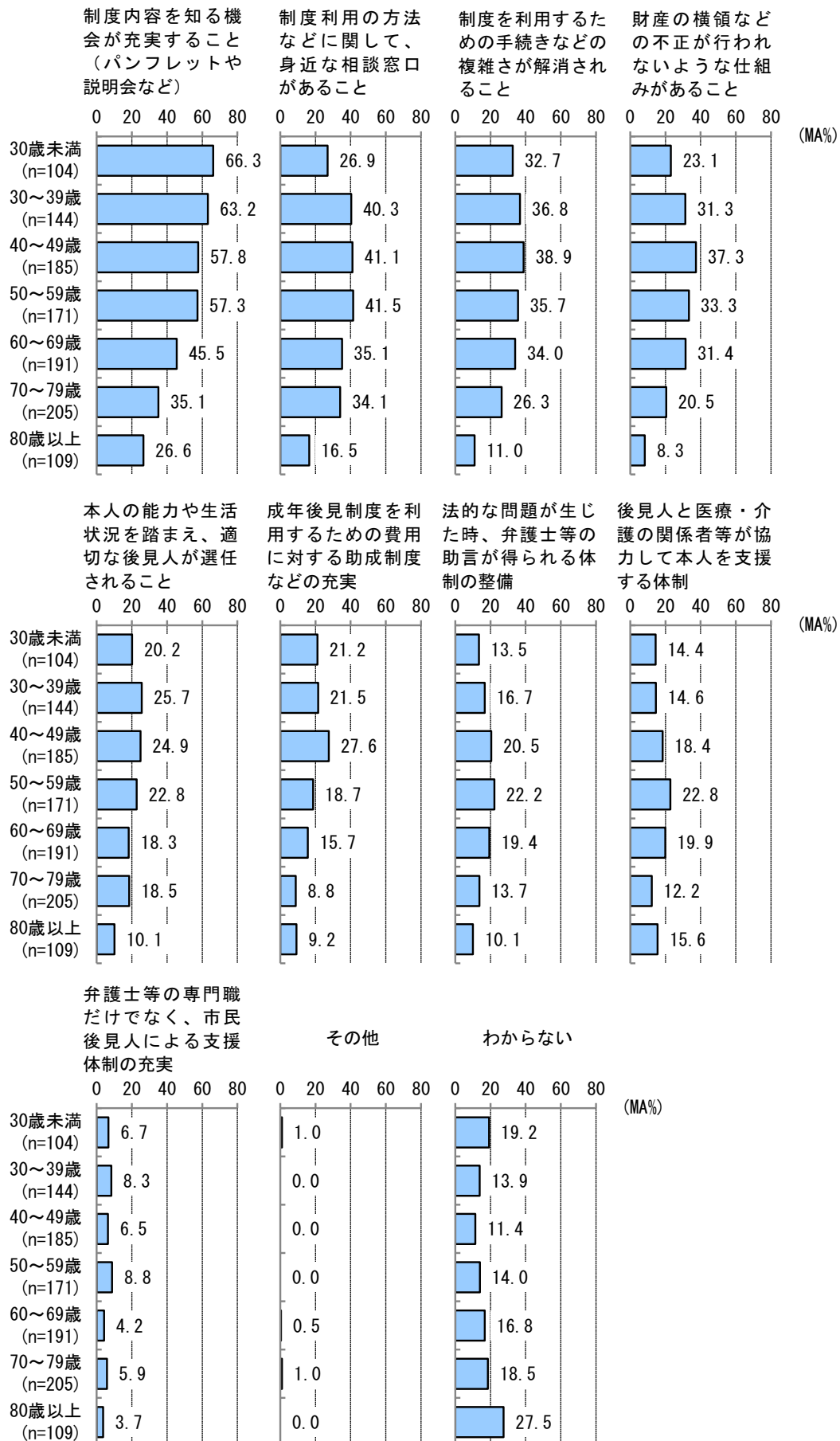
【図7-5 成年後見制度が利用しやすいものとなるために重要なこと】



成年後見制度が利用しやすいものとなるために重要なことについては、「制度内容を知る機会が充実すること（パンフレットや説明会など）」が49.7%で最も多く、次いで「制度利用の方法などに関して、身近な相談窓口があること」が34.8%、「制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消されること」が31.8%となっています。（図7-5）

年齢別でみると、「制度内容を知る機会が充実すること（パンフレットや説明会など）」は若い年代ほど割合が高く、「制度利用の方法などに関して、身近な相談窓口があること」は30～59歳の年代で40%台と高くなっています。（図7-5-1）

【図7-5-1 年齢別 成年後見制度が利用しやすいものとなるために重要なこと】



成年後見制度の利用意向別でみると、“将来に備えて後見人を選んでおきたい”は「制度を利用するための手続きなどの複雑さが解消されること」(48.4%)が、“必要になれば利用したい”は「制度内容を知る機会が充実すること(パンフレットや説明会など)」(59.5%)が最も多くなっています。(図7-5-2)

【図7-5-2 成年後見制度の利用意向別 成年後見制度が利用しやすいものとなるために重要なこと】

